

農大トピックス

資格・検定に合格しました



本年度下記の資格・検定等に合格した学生を紹介します。おめでとうございます。

- ★毒物劇物取扱者………小林 良治・他田 桃香
- ★危険物取扱者(乙種第4類)…安藤 美咲・栗田 裕吐・野村 祥吾・田中 陽
- ★日本農業技術検定2級…小林 良治・他田 桃香・南野 那侑・加藤 周平・田中 陽・中山 純太

表彰を受けました



本年度下記の表彰を受けました。

- JAめぐみの酪農部会乳質報奨金制度……岐阜県農業大学校 最優秀賞 受賞
- 第17回岐阜県畜産共進会種牛の部……岐阜県農業大学校 栗谷 朱里 調教賞 受賞
- 毎日農業記録賞一般部門…高井 鈴那「私の将来と農業」地区入賞 受賞
- 森田 大賀「笑顔あふれる牛飼いになるために」地区入賞 受賞



〈入賞賞状を受け取った高井さんと森田さん〉

岐阜県域農林業教育システム連携研究発表交流会に参加



〈ポスターの前で発表を行った田中さん〉

校長のひとこと

～農業労働力のライバル登場？～

あるTV番組で、生産物買い取り保証のバジル栽培システムを販売するビジネスモデルの紹介がありました。経験と技をデータ化することで、農業素人の投資家でも参入できるスマート農業です。平成30年11月の県内有効求人倍率は2.03倍、全国4位の高水準で、本校の雇用就農・就職にも好影響を及ぼしていますが、こうしたIT・AI革新や、外国人労働者の受け入れ拡大は、農業労働力のあり方を変える可能性があります。技術革新は生活を一層便利にするでしょうが、経験や勘がものをいう私たち昭和世代はそこそこ便利で仕事もあるいい時代だったのかも。卒業生、在校生の皆さん、優秀なIT技術や外国人労働者に仕事を奪われないようにするにはどうしたらいいか、考えてみてください。資格・免許で即戦力となること、語学力・人間力を磨くこと・・・日々の努力を怠りなく。

編集後記

平成30年12月15日星がきれいな、キリリとした空気に包まれた夜、本校で飼育する豚に豚コレラの感染が確認され、防疫措置がとされました。学生の皆さん、関係する多くの皆様に、ご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。職員学生一丸となって、失った信頼を回復するため、よりよい学校にするために努めてまいります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

第34号

農大だより

発行日：平成31年3月1日
発 行：岐阜県農業大学校
可児市坂戸938
Tel: 0574-62-1226
Fax: 0574-62-1227

――◇目次◇――

農大産牛肉の販売を行いました

東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会に参加しました

卒業生からのメッセージ・卒業後の進路

農大トピックス



農大産牛肉の販売を行いました

平成30年11月2~3日、とれたひろば可児店で農業大学校から出荷した和牛「つくよみ」号の精肉が販売され、畜産学科の学生が対面販売に協力しました。「つくよみ」号は、2学年生のプロジェクト学習で、肥育牛のロース芯面積改善のため、通常の大豆粕より嗜好性の良い加糖加熱大豆粕を給餌した牛です。さらにビタミンEやビタミンCを給餌して肉色や脂肪交雑等肉質の向上も目指しました。

学生からは、「生産された肉がどのように販売されているか知り、今後飛騨牛の生産を頑張ろうと思った」等の感想が聞かれました。



〈対面販売を行った学生〉

東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会に参加しました



〈研究発表を行った岩奥さん〉



〈意見発表を行った大島さん〉

1月17~18日に愛知県において標記研究発表及び意見発表会が行われました。

本校からは、研究発表の部に2学年果樹専攻の岩奥裕紀さん、意見発表の部に1学年野菜専攻の大島邦英さんが代表として発表しました。

岩奥さんは、「ナシ黒星病菌子のう胞子の飛散消長による適期防除」と題し、黒星病菌子のう胞子の飛散データに基づいた防除方法等の検討について発表しました。

大島さんは「テクノロジーとオープン・イノベーション」と題して、農家の技術とテクノロジーを融合させ、他の産業を巻き込んだ農業を実践していく、外に向かって農業を発信していきたいと思いを語りました。